

「小中の連携をはかり、 塩山北中学校区の子どもたちを育てていこう」

I 主題設定の理由

塩山北中ブロックでは、ここ数年来「地域で子どもを育てよう」という考えのもと、教職員同士の連携を計ってきた。多くの児童が同じ中学に入学し、同級生となっていく。そのような中で、小・中の連携は、地域の様子や子どもの実態を知る上で不可欠である。児童から生徒への成長や、既習の学習内容・授業規律などを知ることで、一人一人により教育効果の高い教育活動を取り入れることができる。学校・地域・保護者の連携の必要性が述べられる中で、小学校区より広域な中学区全体で地域の子どもたちを育てていこうと考え、本主題を設定した。

II 研究の具体的内容

1 第1回ブロック交流研究会（臨地研修）

- (1) 日時 7月30日（水） 13:30～15:30
- (2) 目的 市内の歴史、文化や自然、施設について講師の先生から学び、子どもの地域学習と、教職員の地域理解に役立てる。
- (3) 内容
 - ア 放光寺（講師：住職清雲俊元様）
 - ・寺社縁起をはじめ、木造金剛力士像、不動明王立像、大日如来座像等の文化財の見学や歴史を学習する。
 - イ 玉宮地区 水晶山（講師：田邊 一様）
 - ・水晶山の歴史やその歴史的背景、水晶自体の学習をする。
 - ・水晶山での水晶採集を行い、教材とする。

2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月12日（水） 14:30～16:30
- (2) 場所 塩山北中学校
- (3) 内容
 - ア 授業参観
 - ・全学級の授業を公開
 - イ 全体研究会
 - ・本日の授業について
 - ・各校の研究及び学力向上の取組について（QUの活用や家庭学習の様子）
 - ・各校の学習規律、児童・生徒の様子
 - ・意見交換（小中連携に関わって、各校の課題や現状等について情報交換）

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月21日(水) 14:30~16:30

(2) 場所 神金小学校

(3) 内容

ア 授業参観 全学年の授業を公開

イ 全体研究会

・本日の授業について

・意見交換

ウ 講演会

「私の人生経験から」 講師 矢崎秀明教育委員長

III 成果と課題

1 成果

- ・中学校区ごとの研究であるので、いずれ一つの中学校で同級生となる児童がほとんどであり、小学校同士の情報交換ができた。
- ・中学校が毎年授業公開をしており、小学校を卒業した生徒が、どのように成長しているかを見てもらう良い機会である。
- ・3小学校と1中学校の授業規律や学習指導に関して、同一歩調をとることができた。
- ・3回の交流の中で、小学校、中学校お互いの授業を公開する以外に、教材化できる地域の史跡や文化財を臨地研修という形で研究できた。また、今年度は地域の教育委員さんによる講演会なども企画され多面的な研究ができた。

2 課題

- ・各校の行事などが重なることがある。スキー教室などの行事では、日程の変更も難しいものがあるので、当初の年間計画の段階から検討していく必要がある。
- ・授業の後の研究会であるが、情報交換が主となっており、もう一步深く、連携を図りたい。情報交換は重要であり外せないので、研究会の時間をもう少しゆとりを持ち、テーマを絞るなど工夫を図る必要があろう。
- ・教職員の交流も図れているが、小学生と小学生、小学生と中学生など、子ども同士の交流が図れる方法も考えていく。
- ・少人数の学校が多いので、それを生かした学級、学年づくりで、一緒に何がしていけるか、など具体的な話し合いも来年度以降は考えていく必要がある。

IV 研究方法の工夫

- ・全3回のうち小学校授業公開1回、中学校授業公開1回、臨地研修1回の計画で行われたが、今年度は小学校の授業公開の中に講演会を設けた。地元の教育委員さんに教職員とは違った視点での講演をいただくとともに、子ども達の普段の様子を見てもらうことが出来た。
- ・臨地研修では、学区の中で有名ではあるが、行く機会の少ない「水晶山」で研修することが出来た。総合学習などの地域教材として生徒が行くことがあるが、実際に教員が行くことは少ないので授業に役立つ臨地研修となった。

(ブロック長 佐久間 覚)